



令和元年 11/9^土・10^日

灯台の文化的価値を評価し、保全と活用を進め次世代へ引き継ぎ、国際的にも価値ある観光資源としてどのように生かしていくか、その方法や可能性を探り、地域活性化の一助とするための情報・意見交換の場として「灯台ワールドサミットin銚子」を開催いたします。

灯台をテーマにしたシンポジウムやエキスカーショ、犬吠埼灯台前園地での物産展などを企画しており、地域の人々や灯台ファン、観光客の皆さまが楽しめる内容となっております。

記念式典 10:00~16:30

要申込

犬吠埼ホテル会場

参加費:2,000円
(昼食付)

11月9日^土 11:30~14:40

講演会



①講師:谷川 竜一(金沢大学 助教)

講演テーマ:「灯台の持つカー かけがえのないつながりを作り出す」

1976年大分県生まれ。2004年、東京大学大学院工学系研究科博士課程・建築学専攻 中退。東京大学生産技術研究所・技術職員、同助教、京都大学地域研究統合情報センター・助教を経て、2015年より金沢大学新学術創成研究機構・助教。博士(工学)。専門は建築史。主な研究テーマは、近現代日本とアジアの空間コミュニケーション史、文化資源の空間論。

主な著作に、『灯台から考える海の近代』(京都大学学術出版会、2016)、『往古への首都建設—平壤の朝鮮式建物』【共編著書『記憶と忘却のアジア』(青弓社、2015)】、『流転する人々、転生する建造物—朝鮮半島北部における水豊ダム建設とその再生』(『思想』No.1005、岩波書店、2008)など。



②講師:不動 まゆう(「灯台どうだい?」編集長)

講演テーマ:「世界から学ぶ灯台の文化価値創生」

灯台専門フリーペーパー「灯台どうだい?」編集長。自腹で世界各地の灯台を取材し発行している。灯台愛が溢れる誌面はテレビ番組でも紹介され、ラジオ出演、新聞、雑誌への掲載も多い。灯台愛好会「ライトハウスラバーズ」に所属し、毎年「灯台フォーラム」を企画・運営する。「灯台」や「フレネルレンズ」の文化的価値を訴えながら、「100年後の海にも美しい灯台とレンズを残す」ことを目指して活動の幅を広げ続けている。著書『灯台はそそる』(光文社、2017)、『灯台に恋したらどうだい?』(洋泉社、2017)。本業は楽器の博物館で働く学芸員。



③特別出演:台湾 桃園市

講演テーマ:「台湾の灯台について」

千葉県と交流があり、白沙岬燈塔を有する台湾の桃園市の関係者を招き、台湾の灯台についてお話しいただき、「灯台」という共通のテーマを通じた国際交流を行います。

11月9日^土 14:50~16:10

パネルディスカッション

テーマ:「灯台を観光や地域づくりに活かすには」

《コーディネーター》

不動 まゆう(「灯台どうだい?」編集長)

《パネリスト》

越川 信一(銚子市長)

柳澤 重夫(御前崎市長)

長岡 秀人(出雲市長)

竹内 千尋(志摩市長)

菅原 広二(男鹿市長)

谷川 竜一(金沢大学 助教)

岩崎 貞二(公社)燈台会会長



越川 信一



柳澤 重夫



長岡 秀人



竹内 千尋



菅原 広二



岩崎 貞二



犬吠埼灯台会場

11月9日^土 10:00~16:00

物産展

場所:犬吠埼灯台前園地

参加自治体の特産のPRブースや販売ブース、ステージイベントをお楽しみください。



11月9日^土・10日^日 8:30~16:00

犬吠埼灯台 特別公開

11月9日^土 16:00~19:00

犬吠埼灯台 夜間公開

ライトアップされた犬吠埼灯台を案内。



エキスカーショ

定員80名
要申込

11月10日^日 9:00~12:00

地元ガイドによる銚子案内

選べる2コース 参加費:無料

①銚子の「水」がもたらした恩恵と災害

—灯台と銚子の海と川の歴史をめぐる—

②自然の恵みを活かした銚子の産業

—灯台と銚子の産業の成り立ちをたどる—

※エキスカーショにかかる施設入場料や保険料は主催者側で負担します。



犬吠埼ホテル会場

11月9日^土 18:30~20:30

要申込

交流会

会場:絶景の宿 犬吠埼ホテル 彩雲の間 参加費:6,000円

記念式典・交流会・エキスカーショのお申し込みはこちら

沖縄ツーリスト

<https://www.okinawatourist.jp/tokyo/contents/lighthouse.html>

【申込期間】令和元年10月1日(火)~10月25日(金)

